

岡山SRH研究会 会報誌～第9号～



平成19年12月22日発行
岡山SRH研究会運営委員



早いもので、今年も残りわずかとなりました。

1年間をゆっくり振り返ってみると・・・なんとなく過ごしていた日々のなかでも、

喜んだり、悲しんだり、笑ったり、怒ったり、満たされたり、不安になったり、反省したり・・・

「心」は、めまぐるしく活動していたと気づきます。よしよしと、よく頑張った心をほめてあげ、

1年でたくましく成長した心とともに、来年も、生き生きと出発したいものです。

今年も1年、おつかれさまでした。来年も、みなさまにとって心温まる1年でありますように。

(運営委員会 会報誌係)



第9回研修会報告



平成19年11月18日(日)、第15回研修会が岡山大学医学部記念会館で実施され、33名の方にご参加いただきました。

「性感染症検査を進めるピア」～検査コーディネーターの活動紹介～

若者が集まるイベントなどの場所で、「携帯でわかる性感染症検査キット」の配布とともに、啓発活動を盛んに行っている団体「CAI(Campus AIDS Interface)」から、検査コーディネーターとしての活動を紹介していただきました。「ピア」の活動として、実践に活かせるようなテクニックやモチベーションなど、多くを学び得ることができました。



「10代が語るホントに受けた性教育！」

日頃、大人にはなかなか語られることのない10代の若者たちの素直な想いを生で聴ける貴重な機会となりました。

参加者からの質問や意見にも、ありのままの姿で応えてくれた彼女たちの声は、私たち大人にとって、驚かされたり反省させられたりすることも多く、とても良い刺激となりました。

「岡山SRH研究会の取り組み、活動について」

本会の新たな取り組みである「かふえ101」や「病院マップ」について、運営委員から説明をさせていただきました。(詳細については、改めてお知らせいたします)



当日、参加者の皆様に記入していただいたアンケート

「あなたが今までに、本当に受けたかったと思う性教育はどのような性教育ですか？」

・・・ご回答の一部を紹介いたします！！ご協力いただきありがとうございました m(_ _)m

- *科学的な知識もきちんと押さえ、関係性も大切にできるようなポジティブな性教育。
- *コンドームの使用方法についてのレクチャー。「知識の習得+体験」が、記憶にも残るはず。
- *具体的に、自分のこととして捉えられるようなわかりやすい内容で、スライドやビデオの視聴が長いと眠気に襲われる。
- *「妊娠・性感染症のリスク管理ができるのであれば、セックスをして良いものか」という点についてなど、根本的なことの回答を得られるような性教育。
- *高校の保健体育の時間に性病と避妊具についてグループごとに調べ学習をして発表した。話を聞くだけだと恥ずかしいけど、自分たちで調べるとそれぞれ一生懸命やっていた。
- *性にちなんだ犯罪や暴力。避妊についての正しい知識と避妊するときの値段。子どもを産んだ後の生活。
- *性病とか、妊娠(学生が妊娠することの大変さ)の怖さが分かる性教育。
- *人と人が心も結ばれるような深い関係を育む力になる、感動を伴う性教育。
- *授業で淡々と具体的な絵を描きながら性交の説明を受けたときはびっくりしたが、まじめにきちんと伝わった感じがした。



上村茂仁先生のコラム



『ピア』って何だ？

インターネットでその言葉を引くと、仲間、友人、ともに考える人・・・などが見当たります。また、同じような悩みを持つ人が集まって話し合う事（たとえば禁煙のカンファレンスなど）もあります。今年のSRHは『ピア』がテーマで行われました。実際子どもたちと接するときを考えるのは、ピアとはやはりピア・エデュケーション、ピアも考えながら育てゆく・・・というもの。すべてのピアがその人生ですべての経験をしているわけではなく、すべての子供の気持ちがわかるわけではない。だからピアたちは相談者と話しながら一緒に悩み、一緒に考え、そして解決に必要な知識を一緒に学ぶ、相談者に寄り添って一緒に行動するのがピアではないかと考えます。

私はいろいろな講演会で、ピアを学ぶ人や、各地域で子供の相談者になる人たちに、「皆さん、しっかりお勉強されていると思いますが、相談者の子供の前ではその知識は一切忘れてください」と話します。知識を入れすぎると頭の中に自分なりの勝手な方程式を作ってしまう。そして相談してきた子供たちを自分の方程式の中に入れて解釈しようとするからです。1000人子供がいれば1000人とも違うバックグラウンドであり、違う人格なわけですから、私たちが持っている数少ない方程式などすべてに当てはまるわけがありません。子供たちの話の内容一つ一つを考えて、その中から考えられる対応が、それぞれに違うわけです。年が近く同じような悩みを持つピアだからこそ、それができるのではないのでしょうか？いろいろな知識を持って、子供たちにそれを与えるだけなのであれば、たぶん私のほうが子供たちより上手だと思います。

みんなとともに悩み、そしてそのために新しい、正しい知識を求めるピアたちを私たちは寄り添いながら、長い目で育ててあげようではありませんか。



新しく仲間入りをしてくれた、とっても心強いメンバーの紹介コラムをお届けします！



コラムバトンリレー



第8走者>>> 助産師 梅野友子

はじめまして、梅野友子と申します。岡山で助産師をして4年目になります。

4年も分娩介助をしていると、嬉しいことも辛いこともあります...みんなの笑顔に囲まれて、日々を楽しく過ごしています。産まれてくる赤ちゃんはとてもかわいくて、私はお母さんからでてくる瞬間の、赤ちゃんの、くしゃっとした顔が好きです。この話をするといつもみんなに引かれてしまいますが...

もう頭からどっぴりと、助産師という職業に浸かってしまっている今日この頃です。

SRH研究会は、思春期や性教育に興味のあった私に、福原さんが勧めてくれました。

右も左もわからずに入りましたが、活動や講演は、毎回「目から鱗！」。

学びが多く、新鮮な毎日です。これからも頑張りますのでよろしくお願いします！





連絡・おしらせ



* 次回の研修会は2/16(土)に実施します。別紙要項をご覧ください。

* 次回「かふえ101」は、2/10(日)「ウイメンズクリニックかみむら」で実施予定！



<岡山SRH研究会> お問い合わせ先はコチラ FAX: 086-803-5336 E-mail: srh_ok2000@yahoo.co.jp